

Message 研究員メッセージ



[研究員] 藤岡京子

ミロスラボラトリー【セカンドライフ】は、高齢者が陥りやすい様々な社会課題を取り上げ、その予防的見地から、新しい未来の可能性を広く社会に提案しています。どのように社会課題は引き起こされていくのか？その原因は？今まで知るはずのなかったメカニズムを新しい視点で見出していくことで、そうした社会課題をクリアにするだけでなく、未然に防いでいけるのです。実証例を通して、そのメカニズムを紐解いていきましょう！



体験者: [研究員] 原田勇光

まるで磁石が引き合うように、夫婦も見えない無意識下で引き合っています。例えば、自分のことを見てほしい、大事にしてほしいという思いを隠し持っていれば意図していなくても構ってもらえるような状況や現象を引き起こしていくのです。恐怖や不安をベースにした構ってほしいという無意識は、次第に様々な病症や問題を引き起こし→看護(介護)する側とされる側という関係性を築き→その中で互いの存在価値を見出し、依存的な関係から抜け出せなくなって・・・悪化の一途を辿るという事態にも。

Topic

～社会課題～

“無意識の共依存・老いの病症”を未然に防ぐ！

実証例

『糖尿病の数値が正常に！
～夫婦の共依存の終わりから、新たな創造の世界へ!!～』

夫は遺伝性糖尿病を30代後半に発症し、私が食事などに気遣えば気遣うほど、隠れるようにお酒を飲み、数年前に失明の危機、命も危ぶまれる状態になりました。しかし、私が無意識の病気に対する不安や恐怖から健康へと傾き、目の前の夫の状態を作り出していたことに気づくと、手術で視力が戻りました。それ以来数値も落ち着き、先日、突然正常値になったのです。お医者様や薬局で驚かれましたが食事や薬を変えた、運動を始めた、禁酒など外的な要因は一切見当たりません。

実は、検診の少し前「病気でなければ大事にされないと思い込んでいた」という無意識が浮上したのです。(私も、先天性心臓病悪化で大手術を受けています。) 私達は、兄弟と比較し親にとって 大事な存在ではないと思い込み、病気で大事にされること、病気の相手に必要とされる事に存在価値を感じる”共依存”の関係性に陥っていた・・・「まさか！」でした。だから、2人とも病気を嫌いながらも病気を手放すことができなかつたのです。今、私達は病気と健康を超えた世界で、2人の空間を楽しむ全く新しいセカンドライフを生きています。



体験者: [研究員] 原田世子

Comment

いかがですか。夫婦で同じ無意識に気づき、メカニズムを理解しただけ！夫婦関係のバランスが整ったことで、代々続いていた思考パターンや病症もリセットされ、夫婦で創造する新しいステージが始まりました。しかも、もう同じ問題、不安や恐怖に陥ることはありません。内面の葛藤を終わらせることで絶対安心の未来が広がります。もう、あきらめなくてもいいんです。セカンドライフ（第二の人生）を応援しています！



[研究員] 野坂貴代子